

福徳岡ノ場の火山活動解説資料（令和2年4月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

16日及び19日に海上保安庁が実施した上空からの観測で変色水域を確認しました。
海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。
今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。
平成19年12月1日に噴火警報（周辺海域警戒）を発表しました。その後、警報事項に変更はありません。

活動概況

16日及び19日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、変色水域が認められました（図1）。福徳岡ノ場ではしばしば変色水や浮遊物が観測されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。

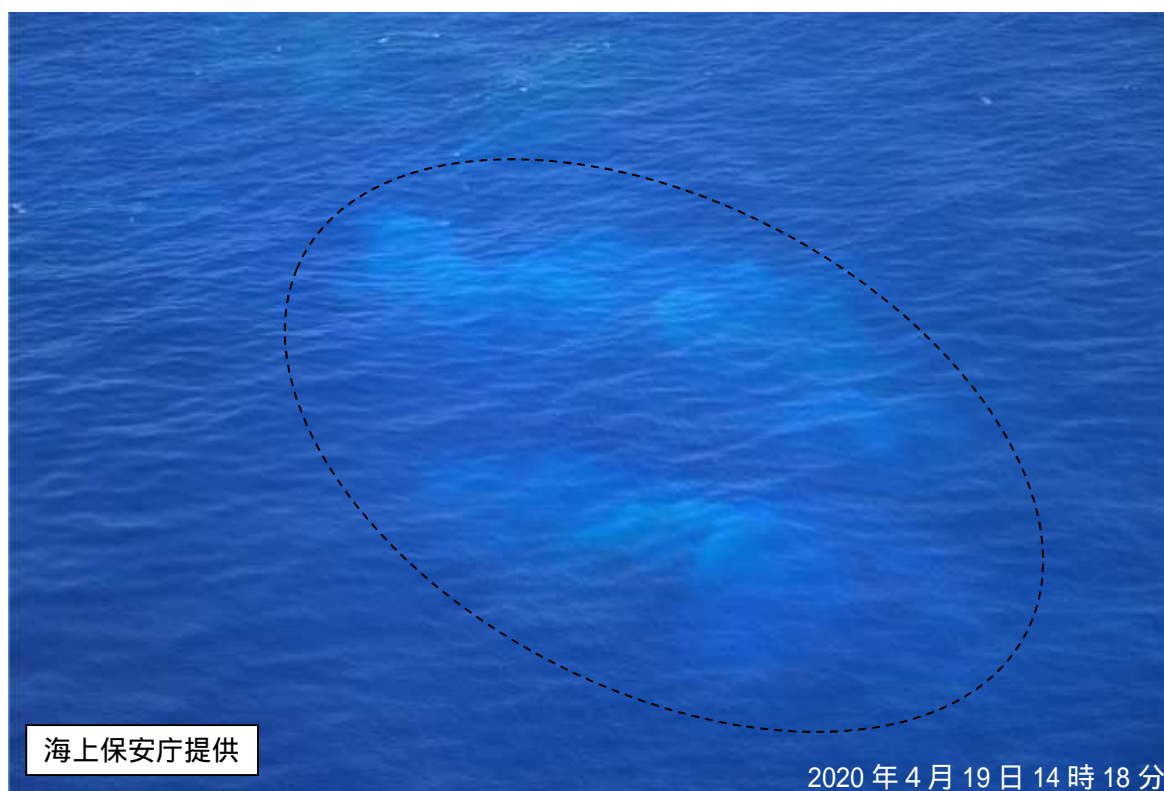


図1 福徳岡ノ場 海上保安庁が実施した上空からの観測結果（4月19日）
主に黒点線内に青白色の変色水域が認められる

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

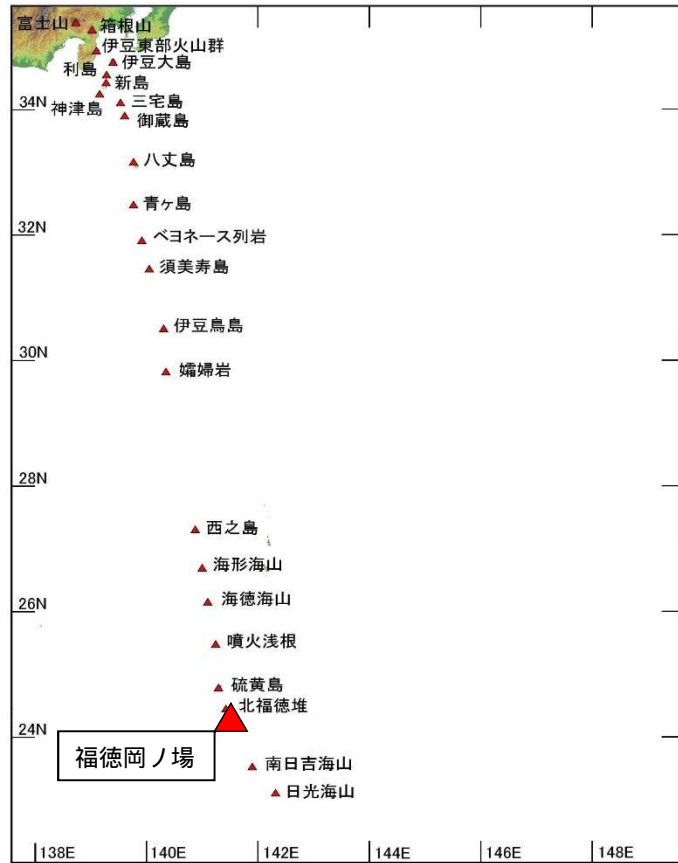


図2 福徳岡ノ場 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福徳岡ノ場
地図は、日本活火山総覧（第4版）から引用。